Ｒ８年度　丹波篠山市立西紀北小学校　学習や生活に関する学力向上プラン

本校は、丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（5 年生：国語・算数、以下「市調査」と呼ぶ）及び全国学力・学習状況調査（6 年生：国語･算数・理科、以下「全国調査」と呼ぶ）の結果をもとに「学習・生活に関する学力向上プラン」を作成いたしました。

学力の定着状況をご確認いただき、子どもたちの学習・生活習慣の改善や学校の教育活動に対して、ご支援、ご協力いただきますようお願い申しあげます。

※なお、本校は少人数のため、正答率や回答内容に個人差が大きい側面もあり、一概に本校の全校的な傾向とは言えないことを申し添えます。

課題と対応

国　語

文章の構成を意識して学習を進めたり、段落ごとに要約する時間を設定したりし、自分の考えをまとめる力をつける。

成果と課題

・漢字の読み書きや物語文の内容把握については一定レベルの定着が見られました。また、修飾語やことわざの問題の正答率も高かったです。

・文章問題において、段落相互の関係や文章全体の構成を捉える力や、書く内容の中心を考えて要約する力に課題があります。要因としては、問われていることの理解が不十分であることや、自分の考えを文字数内で表現する力の不足が考えられます。

対応

授業では、文章全体の組み立て（はじめ・なか・おわり や 起承転結など）をみんなで話し合いながら考え、文章の中心にある大切な内容を読み取る力を養います。また、朝の学習タイムの時間等で、短い文章を書く練習やお手本の文章を書き写す活動に取り組んでいきます。こうした日々の積み重ねを通して、進んで自分の考えを文章にまとめられる児童を育てていきたいと考えています。

算　数

量感をつけ、数量感覚を養う。
問題文から聞かれてる事を正しく読み取り、答えを書く力をつける。

成果と課題

・小数のしくみ、概数の理解、分数の計算、展開図から立体を組み立てた際に重なる辺を捉える力など、数量や図形に関する基礎的・技能的な内容については、おおむね定着しています。

・四則計算のきまりや量感を問われる問題、文章題の理解については、課題が見られました。数のまとまりや式の意味を考えながら取り組んだり、単位や数量の大きさを実感としてもったり、何を問われているのか理解したりする力が課題だと考えられます。

対応

算数の授業では、自分の解き方や考え方を図・式・言葉などでノート等に書き表し、友だちと交流する活動を通して深い学びへと導きます。また、「検定タイム」の時間を活用して各学年の計算領域の反復練習を行うとともに、実物等を用いた体験活動を通して豊かな数量感覚の育成に努めます。そして、算数で培った学びが子どもたちの実生活へとつながるよう指導していきます。

全体を通して

国語・算数の結果より、読解力の課題が見られました。日ごろから読書活動を大切にし、楽しんで本を読む習慣をつけたり、読み聞かせなどを通して本に触れる機会を増やしたりしていきます。

学習・生活習慣

自分に自信を持ち、主体的に学習する習慣を身に着けていく。

成果と課題

〇どの学年においても、項目によって全国平均を上回る結果と下回る結果が出ています。「学級の規範意識」の項目において、全体的に数値が高く、学校や学級の規則やきまりを守ろうという意識が高まっていることがわかります。３・４年生では、「学級の絆」の項目において、数値が高く、学級内で支え合う意識をもって生活しようとする態度が養われています。また５．６年生では、「社会参画」の項目において、数値が高く、様々な行事を通して、下学年や地域の方と関わりの中で相手を思いやる行動をとろうとする態度が身についてきています。

▲全体的に「学習習慣」の項目において数値が低くなっています。宿題など決められた課題は、確実に行っているが、自分に必要な課題を見つけ、計画的に学習する習慣が身についていないことがわかります。また「他者との関わり」に関する項目において、下回る結果が多く見られます。友達との関わり方に戸惑いを感じたり、他者からの評価が気になったりする回答が多く、自分の意見を伝えられていない傾向が見られます。

対応

・学校の教育活動の中で、児童一人一人が活躍できる場を設定し、互いの良さを認め合い、達成感を味わえる経験を大切にしていきます。また相手の思いを大切にしながら、自分の思いも出し合える環境を作り、よりよい人間関係を築いていけるよう努めていきます。さらに、中学校での学びも見据えて、昨年度同様、全校での自主学習を交流する場を設定するなど、児童が主体的に学習する習慣を身につけていくための方法を学年に応じて取り入れていきます。

【保護者の方へのお願い】

学力の向上には、家庭での学習の習慣づくりが大切です。学校で学んだことをもう一度復習することで、学習したことが定着します。4 月にお渡しした「家庭学習の手引き」を参考に、集中して学習ができるよう、環境づくりや励ましの声かけ等をお願いします。また、望ましい生活習慣を身につけるためにも、お子様と今一度話し合い、規則正しい生活が送れるようご指導をお願いします。

重点的に取り組んでいただきたいことは、以下の点です。

□家庭学習に集中して進んで取り組む。
□平日の学習時間を目安にして取り組む。
【1・2 年 20～30 分】　【3・4 年 30～40 分】　【5・6 年 45～60 分】
□忘れ物がないか自分で前日に点検する。（低学年はいっしょに確認する）
□いつも同じくらいの時刻に就寝し、起床する。
□朝ごはんを毎日食べる。
□情報機器の使用については家庭で話し合って使う。
□家庭でも読書の習慣をつける。